

退任のご挨拶

2022年6月末をもって5年間勤めた東京事務所長を退任することになりました。7月1日からは、オーストリア・ウィーンにあるUNIDO本部の事務次長として、UNIDO全体の仕事を担うことになります。この間、皆様には大変お世話になりました。改めてお礼を申し上げます。ほぼ5年間、東京事務所の所長として日本から開発途上国・新興国への直接投資と技術移転の促進の仕事に従事してきましたが、率直に申し上げて、成果を挙げるのは簡単ではない仕事でした。

投資や技術移転を行う主体は、あくまで民間企業です。民間企業に投資判断をいただくための情報提供や、現地政府（投資庁や投資認可委員会）への交渉のサポート、そして現地パートナー（代理店や合弁相手）探しのお手伝い、というところが私たちのできる最大限の仕事ですが、日本企業にとって極めて有望な投資先国と考えていた（今もポテンシャルは極めて大きい）エチオピアやミャンマーでそれぞれ内戦や政変が起きたり、COVID-19で現地への渡航が大きく制約されたり、ということで、特にこの2年間は思ったように活動できない期間が続きました。

投資セミナーや技術移転のためにイベントを開催することは当事務所のルーティンワークですので、これまでの組織の知見をベースとすれば難しいことではありませんが、それを本当の成果である民間投資や技術移転にまで繋げるにはさらに時間がかかります。また、最終的に、我々は民間ビジネスの成功を保証できないため、隔靴搔痒の感はどうしても残ります。

アフリカをはじめとする開発途上国・新興国への投資、新しいビジネスを開拓するスタートアップの数とそこに集まる投資額、大学・公的研究機関の研究者の置かれた現在の状況、若者を取り巻く閉塞感、依然として大きく改善しない女性の社会参加、日本で学ぶ外国人留学生の置かれた立場の厳しさ等を考えれば、30年後の日本が直面するであろう状況を明るいものにするには色々なものを変えていかないとはいけません。

私自身も60歳になっても自分は何も知らないな、と無力感を感じる毎日ではありますが、まずは我が身の置かれた立場でできることを最大限に進めていくため、7月からはウィーンで、これまでやってきた範囲を超えて色々なものにチャレンジしていきたいと考えています。引き続き、様々なステークホルダーの方々と連携しながら仕事をしていきたいと思っていますので、何卒宜しくお願い致します。

令和4年6月
国連工業開発機関 東京事務所所長
安永裕幸



ゆにわーるど

途上国の投資担当官と連携して 日本企業の海外展開を促進

目次

- ・2022年2月～5月に実施した主なイベント
- ・コロナ対策支援プロジェクトの成果報告会を開催
- ・UNIDO 東京事務所長退任のご挨拶

途上国の投資担当官と連携して日本企業の海外展開をサポートしています

UNIDO 東京事務所の主な活動の一つであるデレゲート・プログラム（投資担当官の招聘）。開発途上国・新興国の投資担当官と連携し、日本企業向けに投資促進セミナーや個別面談を実施したり、日本企業の活動現場を視察すること等を通じて日本からの投資を促進しています。



デレゲート・プログラムの最新事例



3月14～25日に開催。サラ・ナシンプワ氏（ウガンダ投資庁の投資促進専門官）が複数の日本企業と個別オンラインミーティングを実施したほか、ウガンダへの投資に関するセミナーをオンラインで開催し、同国の最新のビジネス環境や日本企業の投資のチャンスなどについて講演しました。



コロンビアのバジェ・デル・カウカ県の投資促進機関 Invest Pacific の投資マネージャー（製造部門）マウリシオ・コンチャ氏が5月10～27日、日本企業と面談。中南米の輸出・物流拠点としての立地、税の優遇策などの観点から同県への投資チャンスについて紹介しました。

デレゲート・プログラムに関する詳細情報は
UNIDO 東京事務所ウェブサイトへ



2022年2月～5月に実施した主なイベント

- ※一部を除き、オンラインで開催
- 2月**
- スリランカ投資セミナー
 - バングラデシュ企業との商談会
- 3月**
- ネパール投資セミナー
 - ウガンダ投資庁 (UIA) との個別ミーティング
 - ウガンダ・ビジネスセミナー
 - ERBD/UNIDO 共催ウェビナー：「ESG 投資を通じた持続可能な成長の実現」
 - UNIDO-JAPAN Cooperation: 新型コロナウイルスの影響を緩和する日本の技術移転（ハイブリッド形式で開催）
- 5月**
- コロンビア投資・ビジネス相談会
- 6月**
- セミナー：バングラデシュの経済特区への投資機会
 - カメルーンビジネスセミナー
 - セミナー&交流会：新型コロナウイルスの影響を緩和する日本の技術移転（対面形式で開催）



NEWS アジア・アフリカにおける新型コロナ対策支援プロジェクトの成果報告会を対面で開催

2022年6月9日、「セミナー&交流会：新型コロナウイルスの影響を緩和する日本の技術移転」を開催しました。本イベントは UNIDO が外務省の資金提供を受け、アジア・アフリカ 10 国で実施した新型コロナウイルスなどの感染症対策に関する技術移転プロジェクトの成果を報告するもので、東京事務所としては約 2 年ぶりに対面で開催するイベントとなりました。プロジェクトに携わった日本企業 9 社や 7 カ国の大使館関係者ら計 48 人が参加して経験や知見を共有し、連携を深めました。

報告会では、12 社の日本企業が 2 年をかけて技術実証・移転を行い、新型コロナウイルスをはじめとした感染症対策に貢献したことが報告されました。また、コロナ禍の中、多くの企業がオンラインでのプロジェクト実施に成功したことが強調されました。プロジェクトに携わった日本企業からもフィード



バックがあり、「UNIDO と協力したことによって現地政府機関から信頼を得ることができ、対話がスムーズだった」「現地での認知度向上・波及効果の拡大にもつながった」「今後も現地でビジネスを拡大させたい」といった声があがりました。